広報 にしあわくら

No.699.8

西粟倉村

表紙の人

室山いずみさん
Izumi Muroyama

あわくら
ニコニコキッズチア
Honeys（ハニーズ）
のみなさん

目次

特集　笑顔を広げる　3-9
議会だより　10-13
村の6大ミッション　14-17
あわくら会館　18-19
にしあわくらっ子　20-21
村からのお知らせ　22-29
社協だより　30
その他　32

特集

笑顔を広げる

笑顔を広げる

西粟倉村のチアリーディングチーム「あわくらにこにこキッズチアHoneys（ハニーズ）」。キレのあるダンスとアクロバティックな演出、そしてなによりも西粟倉の子ども達の笑顔がきらきら輝いているのが印象的なチームです。ひとめ見れば見ているこちらが元気なり、演技に惹き込まれる、そんなハニーズを立ち上げ、ご指導されているのは西粟倉村出身の室山（旧姓尾久土）いずみさん。毎週末岡山市内のご自宅から西粟倉村に出向いて夕方18時から21時頃まで子ども達にチアリーディングを教えられています。「置かれた場所で咲きなさい」をモットーとされているいずみ先生からハニーズ立ち上げのきっかけや、村の子ども達への想いを聞かせていただきました。

チアリーディングで村を元気に

現在、小学校1年生から中学校3年生までの31名がハニーズに所属しています。チームの立ち上げは10年前。5人の生徒さんからのスタートでした。

チーム立ち上げのきっかけを教えてください

室山先生（以下 室山）チアリーディング自体が人を応援する、勇気づける、元気づけるがメインのスポーツなので村内の方、特に高齢者の方に見てもらって元気になってもらえたらいいなということが最初の目的でした。元々のきっかけは「チアリーディングを子どもにさせたい」という保護者の方が、私が経験者だということをどこからか聞いてこられて連絡をいただいたというのが始まりです。一般企業で仕事もしていたので、まさかの展開というか自分でも意外な方向に進みました。チアリーディングは大学時代に部活でしていて、4年間続けていましたが、卒業後はチアリーディングから離れていました。

チームを創ることについて最初は悩みました。やっぱり一つのチームを創りあげることとか、チアリーディング競技自体に組み体操とかアクロバットなことが入ってくるのでそれをしていくにあたって、実際にできるのかなという不安もありました。

それでもかなり熱烈にお誘いをいただいて、できることから始めて、みなさんに明るく元気になっていただけたらなというのがほんとの最初のきっかけです。

いずみ先生自身もチアをされていたんですよね？

室山　当時大学に部活としてチアリーディングはありませんでした。同期の子のお姉さんが岡山大学でチアリーディングをされていたのでそこに一緒に通わせてもらっていました。でもそれだと自分たちだけで大会には出場できない、だったら自分の大学でチームを立ち上げようというところで、部活立ち上げのメンバーに入って、本当にゼロから自分たち

でチアリーディング部を創りました。

今のチームの特徴を教えてください。

室山　内に秘めた子が多いですね。卒業した子達がぐいぐいひっぱっていく自分から前に出て行けるタイプの子が多かったので、今の中学3年生はおとなしめな子が多いからどんなカラーになるのかなって思っていました。結構しっかり考えていて、「こうしたい」「大会に向けて自主練習を全員でできるようにしたいんですけどどうしたらいいですか」とかしっかりまじめに考えてみんなで頑張ろうとしています。

人だから合う、合わないはあると思うけど、同じ目標に向かっていく仲間であるから良いところをたくさん見てそれぞれの良いところでチームを伸ばしていこうという話はします。

自分をさらけ出す難しさ

チアリーディングは元々アメリカンフットボールの大会である合間の応援が発祥となったスポーツで、技の難易度、シンクロ性、音楽に合わせてみんなで声をだすことなどを採点基準として競い合います。その中でも独特の採点基準であるのが「笑顔」です。ハニーズは主に年に一度行われる大きな大会、中国四国大会に向けて練習をされています。他にもバレーボールVリーグ等のプロスポーツ大会での応援や、西粟倉の温泉まつり、ふれあいまつりには決まって出演をされています。大会に向けての練習中、いずみ先生が何度も子ども達に「チアリーディングで一番大事なことは笑顔！」と指導されている姿が印象的でした。

子ども達に指導する中で難しいことは何ですか？

室山　体幹を伝えるのが難しいです。もちろん技を教えるのも難しいですけど、やっぱり一番難しいのは「笑顔」です。笑顔で演技をする、ハツラツとした声を出すっていうのは意外と大人ってすぐできるのですが、子どもたちはなかなか。自分もそうですけどこの西粟倉村で育って、やっぱり良い意味で西粟倉の子達って一歩引くといいますか、自分から前に前にというタイプの子は少ないです。意外と家では楽しく練習できていても、

2020
CHEER!!

いざ練習に来ると恥ずかしくてできないことや、逆にお祭りの本番になると意外とさらけだせる子もいます。自分をさらけ出すというか思い切って表情を笑顔にするのは子どもって意外と恥ずかしさが入ってくるので、結構一番の難しいところかなと思います。でもそれがチアリーディングの良さでもあるのでそこを引き出してあげたいなと今すごく思っています。

指導されていて、良かったなと思うことはありますか？

室山　たくさんあります。その中でも、本番で演技が成功した後のこども達の喜びを見られることですね。特に大会で演技が成功して、バックヤードに帰ってきたときの子ども達の喜びようってすごくって。あの姿は忘れられないです。あと、卒業生が今6名いるんですけど、卒業後もチアリーディングに関わりたいと言って半分くらいの子が現役でチアリーディングをしてくれていて、そういうふうに続けたいって言ってくれることが嬉しいです。

育ててもらった
故郷に恩返しを

いずみ先生も西粟倉が故郷ですし、子ども達を育ててる感覚ですよね。

室山　私もお茶の先生、習字の先生、絵画の先生にお世話になり、スポ少もやっていて、そういった地域の方に育てていただいた感覚なので、その先生方の一員に加わったという感じです。そのころから西粟倉に習い事って結構あったので、そうやって地域のみなさんに育ててもらってその恩返しじゃないけど、自分もそうしてもらったので、西粟倉で育って良かったと思ってもらえる一つのきっかけになれたらと思ってチアを指導しています。

これからの目標を教えてください。

室山　コロナ禍で先が見えないところで、演技の動きも、今回の大会に向けてなかなか練習ができなくてストップした状態だったので、本当に思いきり本来のチアリーディングができる日が早く来て欲しいなと思います。そこに向かってみんなでエンジン全開でやっていきたいです。たくさんの子どもたちにチアリーディングを楽しんでほしいですね。

　この村だから一度は外に出る日が来るじゃないですか。村の外に出たときに、チアをしていて良かった、この村で育って良かったと思ってもらえて、外の良いところもたくさん知った中で、またこの西粟倉村に帰ってきて卒業した子達が一緒に指導

してくれる日がきたらいいなと思います。

笑顔と元気の連鎖を

7月には年に1度行われる中国・四国大会に出場しました。大きな会場で、1分30秒という短い時間の中、めいっぱい身体を大きく使い迫力のあるダンスと、遠くからでも分かるほどの眩しい笑顔で演技されているハニーズの子ども達の姿が輝いていました。その姿はいずみ先生が大切に伝えられている、誰かを笑顔にする、元気にするためのチアリーディングそのものでした。自分ではない、誰かを元気に、笑顔にすることはとても難しいことだと思います。しかしながら、いずみ先生の想いが、西粟倉の子ども達から広がって村民のみなさんが元気になる、そんな笑顔と元気の連鎖が続いていけばいいなと思いました。

文　西粟倉村広報係　宮脇
撮影　西粟倉村　福井
デザイン　SANSAI

広報よりお知らせ

6月号から「村の元気」をコンセプトに「広報にしあわくら」を作成しています。庁舎建設に携わった方、元気に活躍されている高齢者の方、今回の特集いずみ先生率いるハニーズのように「村の元気な人」を取材し、こんな人が村にいるんだという気づきや、みなさんに元気を届けたいという想いで表紙と連動した特集企画を開始しました。タイトルロゴと表紙の色もあわせて表現を変更していきます。元気を届けたい方、こんな特集をしてほしいという方は、ぜひ村民掲示板に投稿をお願いします！村民のみなさんへ西粟倉村の情報と共に元気を届けられる広報誌でありたいと考えていますのでご協力よろしくお願いします。

次回の「表紙の人」

次回特集は、別府地区で畜産業を営まれている白岩秀之(しらいわ ひでゆき)さんを取材します。西粟倉村ならではの飼育方法や長年、畜産業を営まれている白岩さんから見た西粟倉村の変化について教えて頂きます。

議会だより

定例議会

令和3年6月

村長所信

庁舎を含むあわくら会館の落成に際しましては、西粟倉村132年の歴史と、それを支えてこられた全ての村民の皆様の想いを、深く心に刻みながら「発展を続ける村として」その使命に応えるべく職員一同鋭意努力を続けて参ります。村民の皆様にはどうかこの拠点施設をフルに活用していただき、それぞれの「生きるを楽しむ」生きがいづくりの場として役立てていただけたらと強く感じております。

さて、新型コロナウィルス感染症関連の現況ですが、村では、接種を希望する65歳以上の高齢者へのワクチン接種が完了し20歳以上の一般の方への接種もすでに始まっています。確実にコロナ対策をとりながら、一体感のある行政運営を心がけることが肝要と判断しています。

さて、前年度から取りかかって参りました「西粟倉村総合振興計画」ですが、審議会からの答申を受け、次の10年間にわたる村づくりの基本的な構想、計画が確定しました。村の未来像を「生きるを楽しむ百年の森林に育まれたむら」と定義し、それぞれ「保健・医療・福祉」「教育・文化」「産業」「生活環境・基盤整備」「協働・行政」の5つの分野ごとに目標を定め、実現するための重点戦略に沿った施策を実施して参ります。さらに10年後に達成したい事象、事柄についても目安として掲げ、全体として進行管理を行い、計画の実効性を高めて参りたいと考えています。なお、計画策定に当たりましては様々なお立場の皆様から、また数多くの村民の皆様に係わっていただきましたことに厚くお礼を申し上げます。今定例議会におきまして、議会の議決がいただけましたら正式にスタートすることになっていますので、よろしくお願いいたします。

今回の補正予算　※予算は通常千円単位で表示されますが、分かりやすくするため千円以下を切り捨て万円単位で表示しています。

会　計	補正額	補正後の総額	主な内容
一般	▲237万円	35億9569万円	推進交付金・関係人口創出プラットフォーム構築事業
国保施設	400万円	6335万円	会計年度職員人件費
介護保険	33万円	2億6235万円	一般介護予防事業費
簡易水道	253万円	8062万円	一般経常管理費
農業集落排水	255万円	8824万円	一般経常管理費

主な内容　6月24日実施

【報告】
■例月出納監査報告（2・3・4月）
■令和2年度西粟倉村一般会計繰越明許費の報告

【一般質問】
■3件

【議案】
■条例改正
・西粟倉村手数料条例の一部改正
・西粟倉村固定資産評価審査委員会条例の一部改正
・西粟倉村職員宿舎の設置及び管理に関する条例の一部改正
■融資に関する損失補償契約の締結
■融資に関する損失補償契約の締結の変更
■西粟倉村総合振興計画の策定
■西粟倉村一般会計歳入歳出補正予算
・他 特別会計歳入歳出補正予算4件
■陳情
2件

質問事項

福祉有償運送事業利用、高額部分への補助について

質問要旨

令和2年12月定例議会において、福祉有償事業利用者の遠方への利用料補助について質問いたしました。とても前向きな答弁をいただいておりますが、この件に関して、その後の検討、進捗状況をお聞きいたします。

福井正議員

答　高木保健福祉課長

12月の一般質問を受けた後、社会福祉協議会に利用料の改定要望について伝え利用料の見直しを行っています。その結果、岡山市の医療機関を利用した場合、距離だけの料金ですと、岡山市内で約35％の減額、津山市内で約15％の減額の改定となります。待ち時間については、2時間の待ち時間の料金を減額改定しています。この新料金については、4月1日からの利用料に適用されています。

問　福井議員

早々なる4月1日からの改定、ありがとうございます。私も移動手段に関して調べてみましたが、モビリティーに関し、全国の自治体、乗合バスの運行採算を例に取りましても約70％が赤字、まして地方に限ると約90％が赤字といデータが出ているように、各自治体は住民のモビリティー確保のために税金を投入しており、その重要性がうかがえます。まして、今回の福祉有償運送事業を利用できる方は、障害者、要支援、要介護の認定を受けている方と付添人に限られます。そういう方々の社会参加支援の一助になり得ると考えております。

今回の福祉有償事業の料金の減額改定は、福祉バス、タクシー半額助成制度などと併せて、今後高齢者のモビリティーについて選択肢が増えました。すぐに利用するかしないかは別として、将来的に見て高齢者の安心につながったのではないかと思います。

今、車での移動統計調査に見ますと、年代別の1日当たりの移動回数は、20代は減少傾向にあるのに対し、60代、70代は増加傾向にあります。1日当たりの移動回数は、年代別で、60歳以上がトップです。移動回数トップを占める60歳以上の方が徐々にこれから高齢、免許の返納等により車での移動が困難になれば、高齢者のモビリティーの確保はさらに重要になってきます。人口の約4割を占める高齢者がアクティブに生きるということが、西粟倉村の活力にも直結するのではないかとも考えられます。これから、モビリティーの確保については、第6次総合振興計画の中でも取り上げられておりますので、引き続きよろしくお願いします。

また、この福祉有償運送事業料金の改定は利用者への助成であり、より利用しやすくなったということを広報で分かりやすく説明をしていただければと思います。

答　高木保健福祉課長

広報でのお知らせにつきましては、社会福祉協議会へその旨伝えます。

河野玲議員

質問事項

コンビニエンスストアの開設について

質問要旨

コンビニエンスストアの開設を以前に言われていましたが、その後の進展が全く知られていません。コンビニエンスストアができるのかできないのか、できるのならいつ、どこに、どの業者か、方向性を伺います。

答　青木村長

コンビニは社会インフラの一つになっているというのが現状です。西粟倉村の住民にとっても、また高齢化社会の一端を支える施設としても有効であるというふうに考えています。場所につきましては、これは未定でありますけど、今のところ、あわくらんど駐車場の一角を予定しています。時期については来年度中ということで、具体的にはまだ未定ですが、経営体としてはあわくらグリーンリゾートを予定しています。所属チェーンについては大手3社のうちからと思いますが、現在のところはまだ決定はしていないという状況です。

問　河野議員

駐車場が手狭な中でコンビニをあわくらんど駐車場に建てるというのはどうなのか、24時間営業というのが普通のコンビニの状況ですが、近隣の民家の方への配慮も考えられてるのか、そのあたりをお聞きします。

答　青木村長

今年秋に予定しております事業で、あわくらんどの北に広い駐車場を確保して、そちらにバスとかを誘導すると、一般車両と棲み分けができるのではないかと思っております。24時間営業となると、真夜中の明かりというのも非常に問題にもなります。そのあたりは今後協議を進めてまいりたいと考えています。

問　河野議員

コンビニ自体が採算を取れない、最初のうちはいいのですが、年々赤字が重なっていく状況が出てきて、撤退するとか村が赤字補填をしていくとかという形になるのではないかなと思いますが、そのあたりについてはどういう考えをお持ちでしょうか。

答　青木村長

経営は、あわくらグリーンリゾートが経営をするということになりますので、そういったものは発生しないと今のところ考えております。

問　河野議員

西粟倉村にも個人の業者がおられます、その方々への配慮があるのか、意見を交換しているのか、そこら辺を最後に教えていただければと思います。

答　青木村長

コンビニの設置は皆さんが快適に暮らすというための施策でありますから、必要なサービスを担っていくという意味ではその他の業者さんとも役割分担をしながら、協力するところはしっかり協力し共存の道を模索していきたいと思っています。

結　河野議員

いろいろな問題も出てくると思いますが、できるだけ前向きな方向でお願いします。

質問事項

移住者向け住居について

質問要旨

今後も断続的、または増える見込みがある住宅不足問題について早急な対応が必要だと考えます。村営住宅のようなしっかりした建物も必要ですが、現状単身で移住する方も増えていますので、独身寮のような住居が必要だと思います。考えをお聞かせください。

岸本直明議員

答

上山地方創生特任参事

村では簡易ユニット型住居の建設の実証事業を令和4年度と令和5年度で計画をしています。共用スペースと個室が数室程度、実証として造るという予定をしています。できれば個室スペースが追加で増室ができまして、投資コストが下げられる施設の整備の検討を行いたいと考えております。現状では設置場を今年度中に選定したいというふうに考えています。

建築を令和4年度とした場合、運用は早くても令和5年度の見込みということになります。また、民間事業者の取組としてシェアハウスなど事業への参入の動きがあれば、これを支援することで公共の投資や維持の負担を減らすことも検討したいと考えています。

答

青木村長

まず、西粟倉村に住みたい、西粟倉村の住民になりたいという多くの方々がおられるという現実は大変厳しい人口減少の中では大変うれしく、歓迎すべきと受け止めています。

村といたしましては村営住宅の増設、空き家の確保、改修補助等移住者向けの住宅確保には注力、促進をしてきました。最近の傾向といたしましては、そうした住宅の確保数に対して移住希望の数が上回り、やむを得ず転入の時期をずらすあるいは断念をするというようなケースが見られます。

現在官民双方での取組が進んでいるところでありますが、特に単身者用で一定の戸数を合理的に、早急にという点を考慮しますと集合住宅というようなもの必要になるのではないかと考えます。用地の確保が前提となりますので、財源につきましても改めて喫緊の課題として位置づけて取り組みたいと考えています。

今一番急ぐべきは定住を促進するための住宅の確保というのが本当に急がれると思っています。今後、優先的に取り組む課題であると認識をしております。

結

岸本議員

とても前向きなご返答をいただき、ありがとうございます。

また、簡易ユニットの促進とかいろいろあるのですけど、土地の問題とかも一番大きいと思います。

また、短期で、仕事でウイークリー、マンスリーとかで入居される方でも対応できるような形もできるのではないかと考えています。

住居がないのは本当に問題なので、全力でやっていただければと思います。

図解

令和3年～12年 第6次西粟倉村総合振興計画

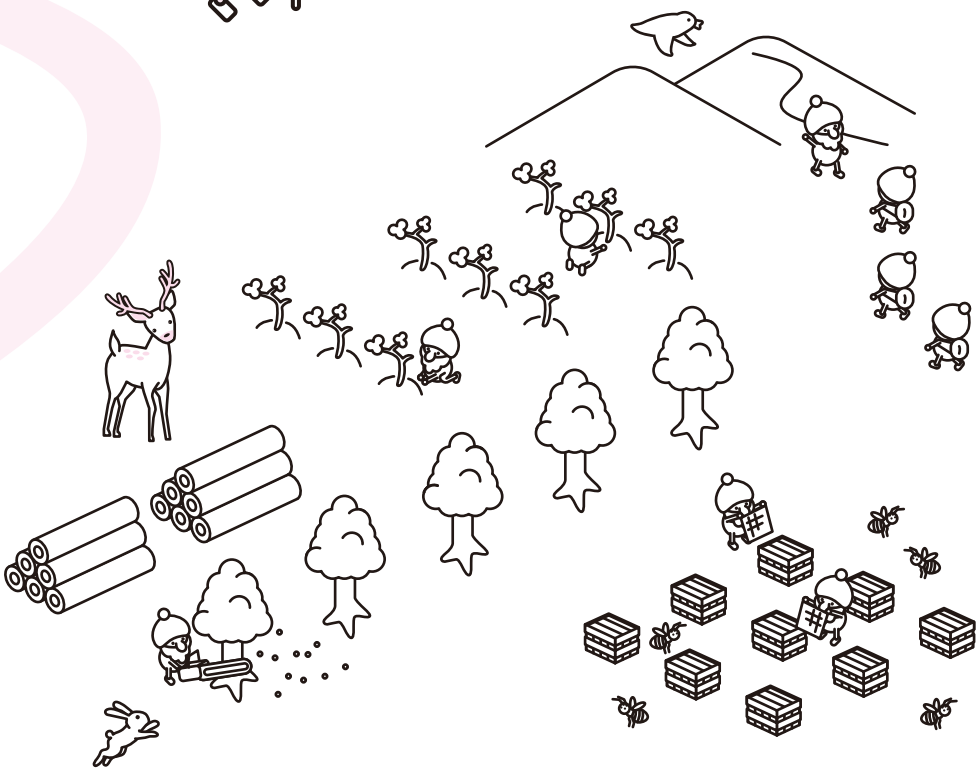
村の6大ミッション

未来を、もっと暮らしやすくするための
6つのミッションをかかげました。

Mission
A～F

Mission
D

百年の森林構想の実現と
森林価値の最大化

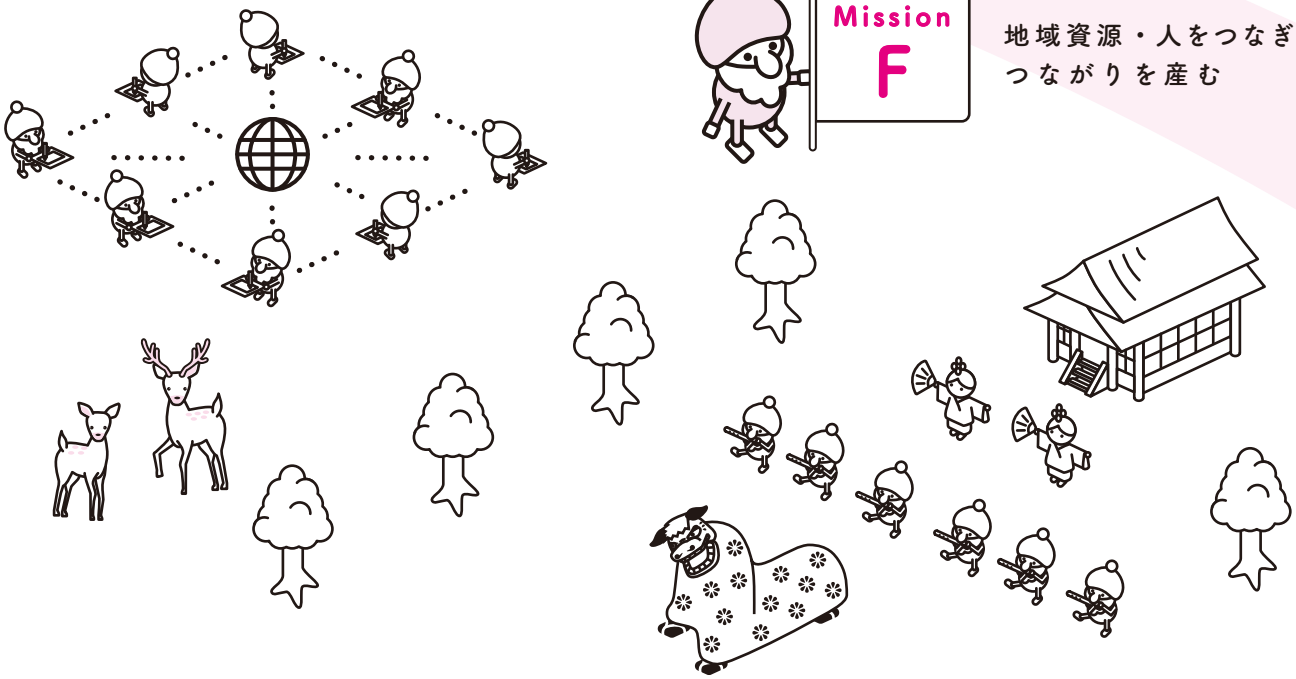


Mission
E

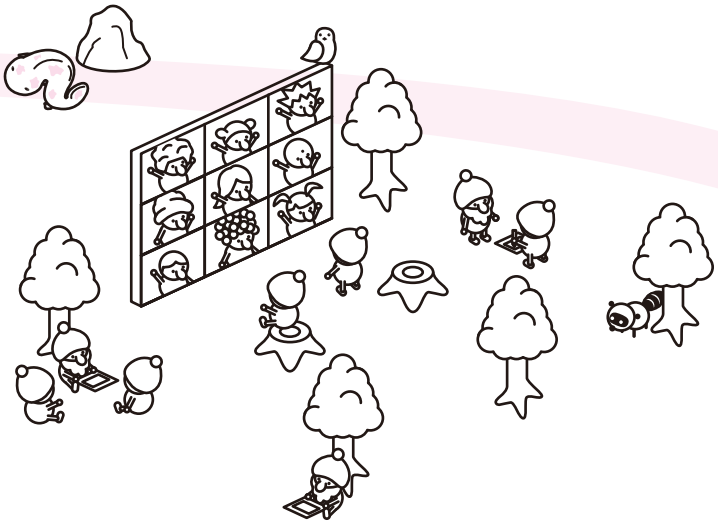
IT基盤の整備
および活用促進

Mission
F

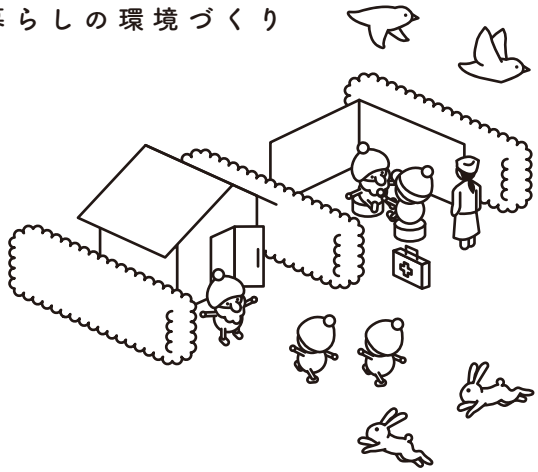
地域資源・人をつなぎ、
つながりを産む

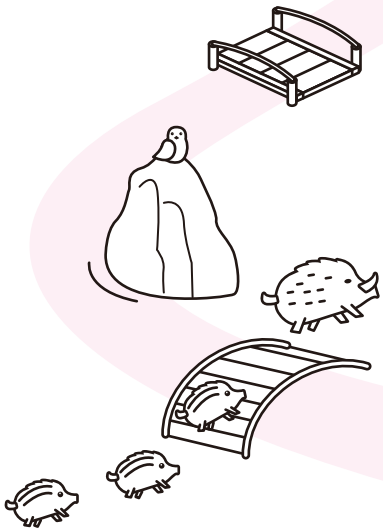


地域、世界と繋がる
教育環境づくり

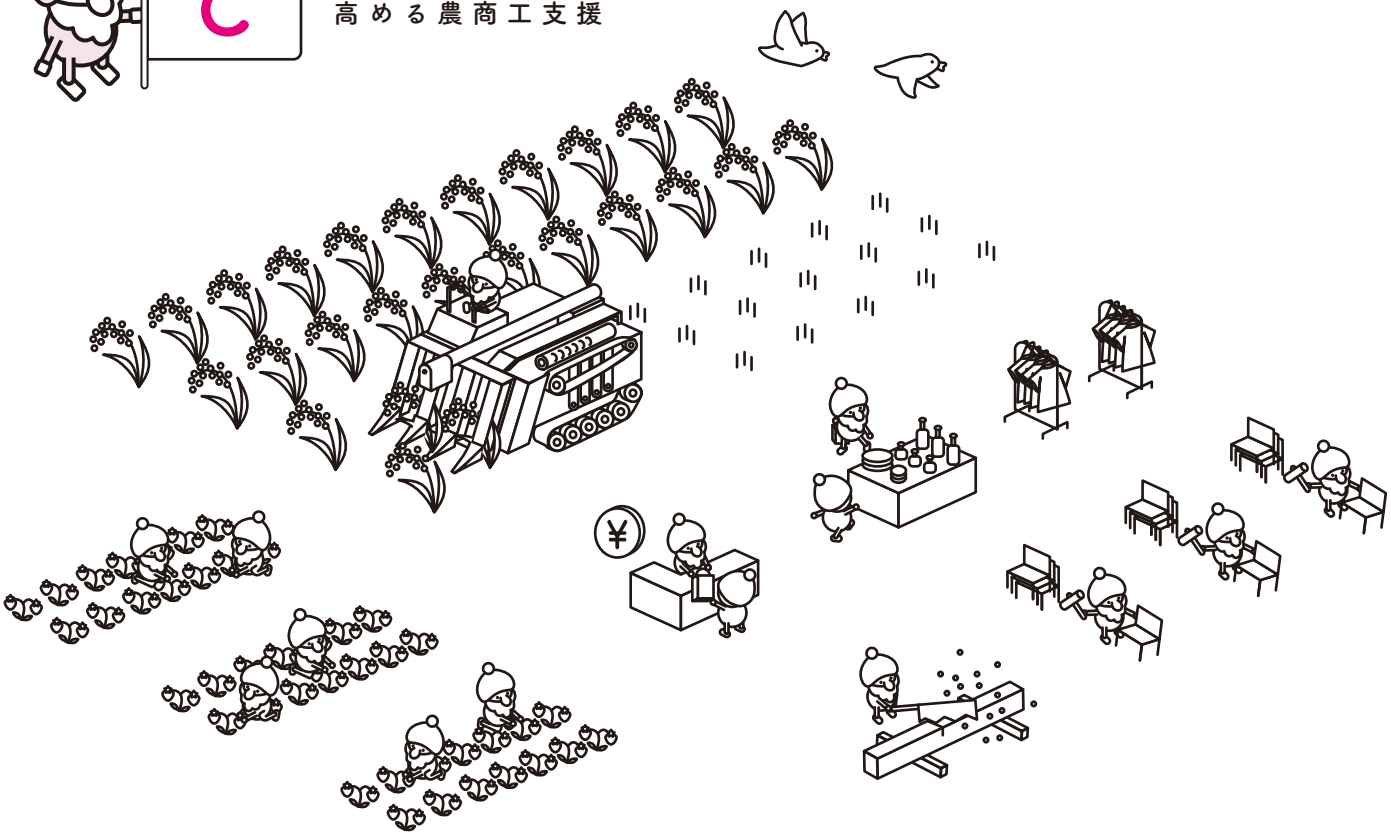


誰一人取り残さない
暮らしの環境づくり





地域経済循環を
高める農商工支援



※2～5章については、順次お伝えします。

第2章 教育 文化　第3章 産業　第4章 生活環境 基盤整備　第5章 協働 行政

西粟倉村高齢化率（2020年）
36.8%

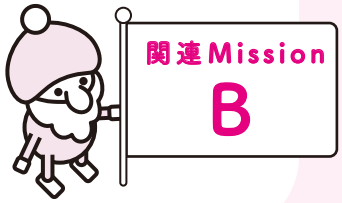
一人暮らし高齢者（2020年）
16.9%

誰もが住み続けられる環境づくり

IoTを活用した見守りシステム、多世代居住型住まいの提供や、村民相互の支え合い支援の整備。
村に住み続けられる介護環境づくりや、就労、社会活動に参加できる環境整備。
※IoTとは、家電や機械など、あらゆる物がインターネットに繋がる技術。

10 10年で伸ばしたいこと［令和3年～12年］

介護状態にならないための高齢者の健康づくりと生きがいづくりを促進します。
誰もが自立した生活を送るための包括的な支援体制づくりを促進します。



減額

33.5万円

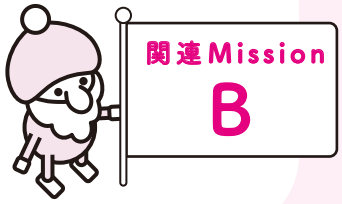
一人当たりの国民健康保険の医療費

医療体制の充実

村内外の関係機関の連携で、村にいても安心して適切な医療サービスを受けられる環境整備を進めます。
診療所と村内の保健・福祉・介護機関との密な連携により、病気にかからない、悪化しないための対策を進め、現段階で36.3万円の国民健康保険医療費を、令和12年時点で33.5万円への引き下げを目指します。

10 10年で伸ばしたいこと［令和3年～12年］

子どもから高齢者、終末期まで安心して村内で診療してもらえる体制を作ります。
総合診療の医療体制づくりを促進します。



第１章

最後まで自分らしく
生きるを楽しむむらづくり

保健　医療　福祉

目指せ！

国民健康保険の
特定健診受診率

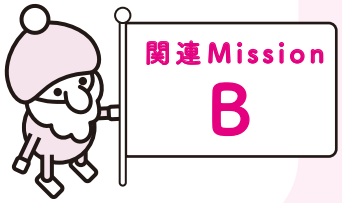
65%

健康に過ごし続けるために備える

医療、介護、生きがいづくりなどの取り組みの連携強化を図ります。誰もが行動の延長で気軽に、安心して受診できる健診のあり方を示します。保健福祉課、診療所及び介護事業所などを通して情報共有、健康教育、相談支援などを進めます。

10 10年で伸ばしたいこと［令和3年～12年］

あらゆる世代の健診・検診受診率を向上させます。
あらゆる世代で健康的な生活習慣を行う人を増やします。



つづけよう！

乳幼児・3歳児
健康診断受診率

100% >> 100%

目標！

中高校生と村の大人が
協働して実施する活動数

年3回

魅力的な子育て環境づくり

西粟倉村の乳幼児・3歳児健康診断受診率は100％！ この数字を保ちながら、多様なニーズに合わせた子育て環境・サービスの提供や、子どもがのびのびと安心して遊べる場づくりを促進します。

10 10年で伸ばしたいこと［令和3年～12年］

地域による子育ての支え合い、つながりづくりを実施します。
子どもを育てる環境の多様な選択肢を作ります。親子で一緒に幸せに暮らすイメージを持つ子育ての増加を促進します。

村民講師企画

「夏の不調を整える漢方ライフ」
■日時：8月21日（土）10：30～12：00
■講師：門 ゆかりさん（薬剤師）

定例のイベント

「頭イキイキ音読教室」
■日時：8月11日（水）10：30～11：00
「あわくら俳句教室で俳句作りを学ぼう！」
■日時：8月21日（土）13：30～15：30

図書館・会館サポーター企画

ボードゲーム大会 in あわくら会館
大人気ボードゲーム「ブロックス」の
チャンピオンを決める大会を開催します！
■日時：8月29日（月）13：30～16：30
■定員：先着16名（見学のみも可）
■対象：8歳以上（遊び方やルールを守れる人）
■申込：電話または窓口まで
※事前に練習日を設けます。
掲示板やfacebookでお知らせします。

ランタンナイトspecial「音楽朗読会 銀河鉄道の夜」

隔月で開催しているランタンナイトの
特別版「音楽朗読会」を開催します。
宮沢賢治・不朽の名作「銀河鉄道の夜」を朗読と
音楽、アート映写で浮かび上がらせます。初秋の
風吹く中、賢治の豊穣の世界をご堪能ください。
■日時：前編　9月3日（金）19：00開演
後編　9月4日（土）18：00開演
※各回開場は30分前
■場所：あわくら会館　入場無料（要予約）

ギター演奏 / 伊藤仁美　朗読 / 中山真樹子
声楽家 / 菊池真由　アートワーク / 村山智美

村民講師企画

「やまと森の知らない世界 vol.3
年輪や種から見る針葉樹と広葉樹の違い」
■日時：8月22日（日）13：30～15：30
■講師：清水 美波さん（株式会社百森）写真左
川上 えりかさん（西粟倉村役場）写真右
■参加費：
300円（材料費）

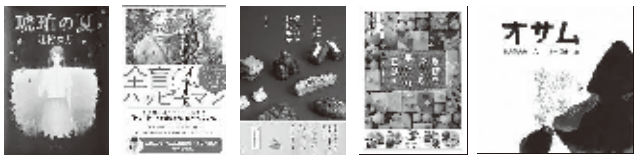
あわくら会館での出店販売・イベントの事前公募をはじめました！

あわくら会館の部屋やスペースを使って、出店販売やイベント・ワークショップを開催してみませんか。事前公募の詳細は、館内掲示やfacebookをご覧下さい。

図書館の新刊情報

一般書
「琥珀の夏」　辻村深月／著
「全盲ハッピーマン」　大平啓朗／著
「愛すべき地味菓子」　yuka★cm／著
「季節を愉しむ手づくり石けん」　うた／著

児童書
「オサム」　谷川俊太郎／著
「怪物園」　junaida／著



その他の新刊は、あわくら図書館HPまたは館内設置の図書検索システムをご覧下さい。

■ あわくら会館ご利用案内
あわくら会館 西粟倉村影石33-1
開館時間 8:30～22:00
あわくら図書館（あわくら会館内）
開館時間 10:00～18:00
休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始
（8月は9日、30日が休館日）
■ 問い合わせ先
あわくら会館・図書館　TEL：0868-79-2116
教育委員会事務局　TEL：0868-79-2216
お知らせ・蔵書検索はホームページをご覧ください。
■ あわくら会館・あわくら図書館の詳細はHPまたは館内に掲示したチラシ、Facebookページをご確認下さい。参加費の明記がないものは無料です。

あわくら会館で
行われる
「生きるを楽しむ」
イベント・活動

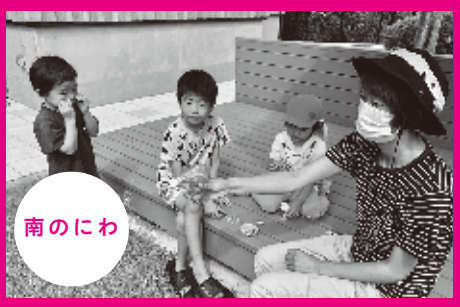
あつまる、つながる、やってみる
あわくら会館
あわくら会館
AWAKURA-KAIKAN

誰でも読み聞かせができる「よむよむエプロン」が始まりました！

あわくら会館・図書館サポーターさんの提案により、誰でも自由にいつでも読み聞かせをすることができる「よむよむエプロン」ができました！
6月20日にはエプロンのお披露として読み聞かせ会をしました。
このエプロンをきっかけに子どもも大人も、お互いに声をかけやすくなったらいいなと思っています。ぜひこのあずき色のエプロンを使って気軽に読み聞かせの素晴らしさを体験して欲しいです。

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

利用者のみなさんは思い思いにあわくら会館で過ごしています。
いつでも気軽に集まれる場所、何でもできる場所を目指していきます。



保育園

七夕会を開催
～みんなの願いが叶いますように～

7月7日(水)に保育園では七夕会をしました。当日までにおうちでかわいいきんぎょの七夕飾りの製作と短冊に願いごとをかいて親子で笹に飾りつけをしていただきました。「見てみて～きんぎょ作ったよ」とおうちの方と一緒に製作したきんぎょの飾りをうれしそうに見せてくれました。短冊にもすてきな願いごとがたくさん飾られ素敵な七夕飾りが七夕会を盛り上げてくれました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、先生のウクレレとハンドベルの演奏に合わせてたなばたやキラキラ星をうたったり、手遊びをして和やかで楽しい時間を過ごしました。

またこの日の給食も七タメニューで『お星様の混ぜ寿司、短冊サラダ、オクラ(星形)のすまし汁』で給食でも七タを楽しみました。これからも季節の行事を大事にしていきたいです。

幼稚園

沢歩き

6月30日(水)、くま組とぞう組は大茅へ沢歩きに行きました。

歩きにくい場所ではボランティアの方々にサポートしていただきました。子どもたちは、森の中を歩き、静けさや涼しさを感じたり、小鳥のさえずりを聞いたりしました。

大きなシダの葉をかき分けて進み、沢までたどり着くと、冷たい水の中をみんなで川上へ登っていきました。子どもたちにとっては、スリル満点だったようです。楽しく安全に、活動できてよかったと思います。

ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

元気いっぱい

あわくらっ子

小学校

ふるさと・子どもたちを元気に！『ふるさと元気給食』

給食では、西粟倉村で育ったお米をはじめ、地域の方が作られている旬の野菜や、学校で収穫した木の芽や野菜、また岡山県産の食材を取り入れることで、西粟倉村を元気に、そして、その給食で西粟倉の子どもたちを元気にする取り組みとして、『ふるさと元気給食』と名付けた給食を実施しています。

使用当日には掲示資料や放送原稿、栄養教諭による給食時指導で児童に紹介しています。地域の方々のご協力を得ながら、地場産物を活用した、安全、安心でおいしい給食を提供することで、給食を通して村のこと、岡山県のことを知り、ふるさとを愛する心を育みたいと考えています。

中学校

三年生最後の総体 部活で鍛えた心と体！ ～部長から後輩へのメッセージ～

＜バレーボール部＞

美作総体では、決勝トーナメントで田村杯優勝チームの津山東中から1セットを奪うことができました。最後まであきらめずに笑顔で声を出し、協力してプレーでき、いい思い出になりました。大原中学校と合同チームで大会に出場できたことに感謝します。後輩達には、私たちが行けなかった県大会に行ってほしいです。

＜陸上部＞

7月の県総体は部員全員での参加で一生の思い出になるよう、各自の力を出し切りました。美作総体は3年生にとって最後の大会でした。3年間、仲間と楽しく部活動ができてよかったです。後輩のみんなも、1つ1つの練習に力を入れて記録更新できるように頑張れ！

＜卓球部＞

美作総体では、みんな全力を尽くして頑張りました。その結果、男子は団体戦で県大会出場を決めました。県総体の目標は、1勝でも多く勝利することです。3年間の部活動はとても楽しかったです。1・2年生は各自の目標に向かって楽しんでほしいです。頑張ってください。

ふるさとの自然や人に学び、子どもたちの生きる力を育む西粟倉ならではの教育プログラム

特色ある教育通信

西粟倉の元気は「身近な人やものに対する想い」から

7月2日に西粟倉小学校の5年生が「村を元気にしている人」たちにインタビューを行いました。対象は、一学期の前半から子どもたちで話し合って決めました。インタビューを行う前に子どもたちは、なぜ西粟倉を元気にしていると思ったのか「元気ポイント」「聞きたいこと」を考えてきました。

最初にインタビューを行なった青木秀樹村長からは、「この村が『キラッと光る村』によりなっていくために、他の地域の参考になるような取り組みを様々な場所で進めています」というお話しがありました。

また、「病気の人が少しでも元気になれば嬉しい」「西粟倉に新しい仕事を作ってくれる人達のサポートが楽しい」等、役場職員のみなさんには産業観光課・保健福祉課・総務企画課・建設課それぞれの立場からお答えいただきました。

また、事業者や村民のみなさんにもお話をお伺いしました。西粟倉特産の木材を使って、様々な木工商品を製作している株式会社西粟倉・森の学校の西岡太史さんは、「みんなで新しい商品開発を行うことでより良いものを作っていきたい」という社内のやる気と元気が西粟倉の元気につながっているのではないか、という視点を与えてくれました。

やってみん掲示板を使ってイベントを企画されている村民のみなさんからは「自分が楽しいことをみんなでやるともっと楽しい」「いろんな人とのつながりができて楽しい」というようなお話しがありました。

今回のお話しを通して、「西粟倉を元気にする」という目的を強く持っているというよりも、「関わる人たちが元気で楽しく過ごしてほしい」や「より良いものを作りたい」という身近な人や物に対する想いが結果的に西粟倉全体を元気にしていることにつながっていると感じたようです。

6年生になったときに村に対してアクションをとるために、西粟倉で活躍されている方々のお話をお伺いすることが今回のインタビューの目的です。

二学期に「西粟倉の元気」についてさらに深堀りし、来年度に活かしていく予定です。

（教育コーディネーター　今井晴菜）

ＳＤＧｓ未来都市にしあわくら
村の未来を創る、考える

第14話

西粟倉の川から村を知る ～川の生き物調査し隊！～

8月7日、主に子どもを対象としたイベント「川の生き物調査し隊！」を行いました。このイベントは、川で遊びながら自然を体感すること、川に住む生物を観察し村の水の綺麗さを知ることを目的に実施しました。

かつて村の子どもたちにとって、川は夏の遊び場でした。自分で魚を採り捌く、魚を採るための道具を作る、自然の危険を知るなど、川は楽しい場所であると同時に学びの場でもあったようです。また、幼少期に川に親しんだ経験は、大人になっても川の環境への興味という形で残っています。本イベント前のヒアリングにて村で育った大人たちが、今も川はきれいだけど魚が全然いなくなったと話してくれました。

魚が減ったのにはさまざまな要因が考えられ、すぐに一つの原因を特定し魚を増やす、ということは困難です。しかし村は、本イベントで行った調査の結果など、さまざまなデータを蓄積して、豊かな川を守るための指標としていきたいと考えています。これはＳＤＧｓの「14海の豊かさを守ろう」「15陸の豊かさも守ろう」につながる取り組みです。

何より、近所の綺麗な川で遊べるというのは現代社会において貴重な環境です。子どもたちとこの環境を楽しみながら、取り組みを続けていきたいと思います。

SDGsイベント
「川の生き物調査隊！」
監修:神戸大学理学部生物学科
　　生物多様性講座
　　佐藤 先生
共催：一般社団法人 Nest

SDGs週間

「次へ繋ぐ」持続可能な村にしていくために、あわくら会館全体を使いSDGsを考える1週間、「SDGs週間」を開催します。「持続可能性」について、日常生活の中で常に意識することは難しいかもしれませんが、このイベントが、知って、視て、参加して、考えるきっかけになればと考えています。短い期間ではありますが、定期的に村内事業者、村民の方の取り組みも紹介していける場にしていきたいと考えていますので、ぜひご来場ください。

今回は以下の催しを行う予定です。

- ■中学３年生の「コロナ×ＳＤＧｓ」のインフォグラフィック（データをわかりやすく視覚的に表現すること）掲示
- ■村のSDGsの取り組みのパネル掲示
- ■ＳＤＧｓ関連映画の上映
  「プラスチックの海」「バレンタイン一揆」
- ■SDGs関連書籍の掲示
- ■みんなの小さな取組を貼ろう

日時・詳細は、折込チラシをご覧ください。

脱水予防対策について

体の中の水分が不足すると熱中症・脳梗塞・心筋梗塞など様々な健康障害のリスク要因となります。

＜かくれ脱水症チェック！＞

- **手の甲をつまんでみる**
  脱水状態の場合、「富士山」のように盛り上がった皮膚がすぐに元に戻らない。
- **爪の色をチェック**
  爪を押したあと、色が白からピンクに戻るまで3秒以上かかる。
- **おしっこの回数・色をチェック**
  おしっこの回数がいつもより減っている・色が濃くなっているのも水分不足です。

その他：口がかわく・頭がぼーっとする・頭痛・吐き気・立ちくらみ・食欲不振も脱水の症状の可能性があります。

定期的に水分補給を行うために、日常生活でのタイミングに合わせてコップ１杯程度の水分を起床時、朝食時、10時のおやつ、昼食時、３時のおやつ、夕食時、入浴時、就寝時と体の状態に合わせて少しずつ回数を分けて摂取するようにしましょう。経口補水液やスポーツ飲料は水やお茶に比べ吸収率が高くおすすめです。（診療所でも取り扱っていますので、希望があればご相談ください。）コロナ禍でマスクの着用頻度が増えていると思います。こまめに水分をとりましょう。

お問合せ：西粟倉村国民健康保険診療所　７９－２２２０

カフェイン・アルコールは利尿作用があり、水分補給にはなりませんのでご注意ください。

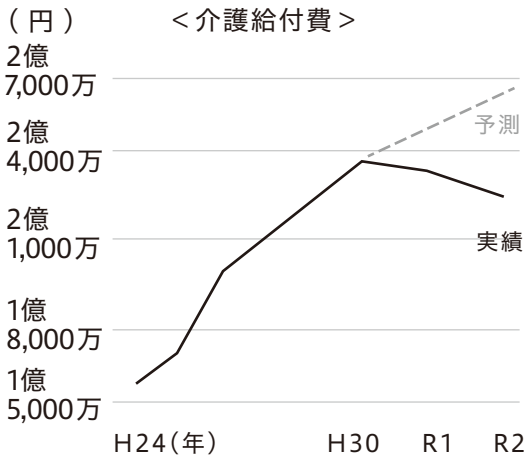
村の介護保険の「今」令和２年度までの介護給付費の動き

介護給付費が平成３０年を境に減少しはじめたことは、要介護認定率と関係しています。要介護認定率は、平成29年に21．9%（認定者数106人）、でしたが、そこから毎年1～2%ずつ増加し続け、令和2年には23.9%（認定者数128人）となりました。ところが、令和３年4月末時点では、２1.9%（認定者数114人）と、平成30年の水準まで下がりました。

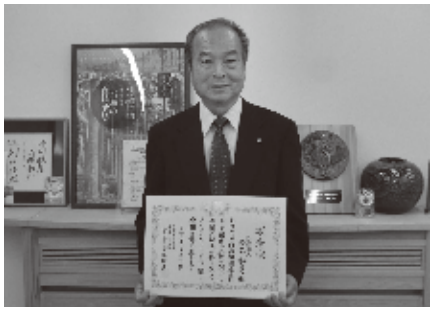
しかし、どんなに意識していていも、誰もが介護が必要になる可能性があり、加齢とともにその割合は増加します。

大切なことは、必要な時に本当に必要な介護サービスを選択することです。村の地域包括支援センターでは、まず要介護認定を受けるべきかどうかも含め、ご本人やご家族を交え、さまざまな相談に乗っています。また、一人でも多くの方が健康な暮らしを続けられるよう支援しています。

※介護保険サービスを利用すると、利用者は費用の１割から2割を負担し、残りの8割から9割は「介護給付費」とし、自治体を通じ、サービスを提供する事業者に支払われます。



お問合せ：西粟倉村保健福祉課　79-2233



受賞おめでとうございます！

西粟倉村の行政相談委員の春名静男氏が、この度岡山行政監視行政相談センター所長感謝状を贈呈されました。春名委員は、積極的に委員活動を行い、農地利用、道路に関する相談等、4年間で数多くの相談を受け付け、助言や関係機関へ通知などを行い委員業務の遂行に尽力されました。今後も、地域住民の困りごとの解決にお力を貸していただきたいと思います。

コロナワクチン接種後も『洗って、ふいて、消毒』

西粟倉村では、コロナワクチン接種を受けた20歳以上の方は6割を越えていますが、油断は禁物です。感染予防は、接種後も大切です。手洗いと消毒を徹底しましょう。

◯「洗って・ふいて・消毒」手指のウイルスは、3つの所作で、徹底して減らせます。

① 手洗い：石鹸で洗う（ウイルスが1/100に減る） ▶ ② ペーパータオルで水分と汚れを拭き取る（ウイルスが1/10に減る） ▶ ③ アルコール噴霧して手指を消毒する（ウイルスがさらに1/10に減る）

【アルコールでの手指消毒】◎アルコール消毒液は惜しみなく使います◎

① ポンプは、1度しっかり下まで押し切る。
② 手指を曲げて、爪先にかかるようにし、手の平で受ける。
③ 手の平と手の平を擦り合わせる。
④ 指先、指の背をもう片方の手の平で擦る（両手を交互に）。
⑤ 手の甲、指の間、親指、手首を、もう片方の手の平で擦る。
⑥ 乾くまで刷り込む。

お問合せ：西粟倉村保健福祉課　79-2233

夏といえば、ラジオ体操

昨年10月から始まったお昼のラジオ体操。夏休みを迎え、子どもたちは毎朝ラジオ体操に励む季節となりました。そこで、ラジオ体操の効果について、お伝えします。ラジオ体操を続けている人は、歩行能力、柔軟性、筋力などから算出される「体力年齢」が若く保たれます（＊平成25年度ラジオ体操の実施効果に関する調査研究）。9月にはスポーツ・レク祭りで体力測定を行います。ラジオ体操で培った体力を測ってみませんか?!

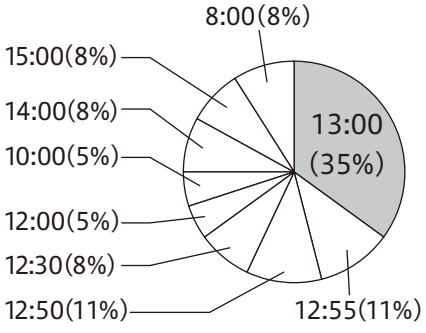
【村のラジオ体操アンケート結果】

5月総合健診の受診214人の方に、アンケート調査を行いました。

◎お昼の放送のラジオ体操は、4割以上の人が実施していました！

◎放送時間の変更希望があり、7月から最も希望の多かった13時に変更しました。放送時間について、ご意見などありましたら、お聞かせください。

※スタンプ帳を無料で差し上げます！ご希望の方は下記問い合わせまで



お問合せ：西粟倉村 保健福祉課 79-2233 / 教育委員会 79-2216

「あわくらポイントサービスを使ってみよう!」～その2～

あわポ

あわくらポイントサービスの開始から2ヶ月が経過し、利用登録者数も約300名となりました。500ポイント以上貯まると、村内でのお買い物などに利用できるあわポギフト券に交換できます。貯めたポイントがあわポギフト券として村内で利用され、村内の経済活動の活性化を図ることも本サービスの大きな目的です。今月号では、電子あわポギフト券の利用方法についてご紹介します。

貯まったポイントをギフト券に交換する

STEP 1

「ギフトに交換」を押す。

STEP 2

ギフト一覧から交換したいギフト券を選択する。

STEP 3

「交換する」を押し、ポイントとギフト券を交換する。

STEP 4

ギフト券への交換完了!

交換したギフト券を利用するとき

STEP 1

「ギフトを使う」を押す。

STEP 2

「交換済みギフト一覧」から、「使えるギフト」を選択する。

STEP 3

以下の画面が表示されたら、「支払う」を押す。

STEP 4

支払う金額入力し、「支払う」を押す。

※有効期限は、交換日から3か月後の末日です。

STEP5

スマートフォンの画面を会計時に見せる。

STEP6

画面に担当者がスタンプを押したら決済完了!

電子あわポギフト券は1円単位で利用できます

例えばこんな使い方も!

1.1000円ギフト券に交換し、750円を店舗Aで利用
2.「交換済みギフト一覧」から同じギフト券を選択
3.残額の250円を店舗Bで利用

ーあわポカード利用者のポイント交換についてー
役場窓口にて紙のあわポギフト券に交換いたします。ポイント数を確認したい、ギフト券に交換した時は担当窓口(地方創生推進室)までお声がけください。

お問合せ:西粟倉村 地方創生推進室 0868-79-2221

First Toy　～あわくらウッドスタートからはじまる～

西粟倉村ではウッドスタートに2013年から取り組んでいます。ウッドスタートとは、木材、地域材を活用した子育てや子供たちが育つ環境を整備し、全ての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かな暮らしを実現するための取り組みです。

あわくらウッドスタートでは、村内の木工事業者が村産材で製作した木のおもちゃを、出産後1ヶ月健診の際に赤ちゃんとそのご家族へプレゼントしています。

“First Toy”(ファーストトイ)を受け取ったお父さん、お母さんは、満面の笑顔で「村でこんな子ども向けのものが作られているんだ」「子どもが生まれたことをこうした形で村からお祝いしてもらえて嬉しい」と喜んでくださいます。そして赤ちゃんは初めて出会う木を見つめたり、振り回したり、あるいは口に咥えてみたり、、、赤ちゃんならではの五感で木のぬくもりを体感します。

「木」には人に様々な効果をもたらす事が分かっています。例えば木の香りや木材への接触は人の副交感神経に働きかけ、心身の緊張や興奮を和らげます。百年の森林構想を掲げるにしあわくら。森林や木が身近にある環境だからこそ、小さな頃から「木」に触れ、木のもつ効果を存分に感じて欲しいです。

第8回 森のおもちゃフェスティバル開催について

木のおもちゃで遊んでもらうイベントです。感染対策を十分におこなって開催します。
日時：令和3年8月29日(日)　10:00～15:00
場所：西粟倉中学校体育館内・駐車場内
新型コロナウイルス感染予防のため、当日は検温・体調チェック、マスクの着用をお願いします。
なお、周辺地域の新型コロナウイルス感染状況によっては開催を中止させていただく場合もあります。

西粟倉村 産業観光課

西粟倉村夏まつり花火大会中止のお知らせ

令和3年度の夏まつり花火大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、皆さまの安心安全を最優先に考慮し、誠に勝手ながら開催を中止させていただくこととしました。
ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

みまさか商工会西粟倉支所 TEL 0868-75-3421 / FAX 0868-75-3422

西粟倉第２発電所『みおり』落成式

平成31年3月から大茅地区に建設が進められていた西粟倉第２発電所「みおり」が完成し、6月28日（月）、発電所建設にご協力を頂いた皆様と落成式を行いました。

今後20年間、「みおり」の発電した電気は、再生可能エネルギー電気として一般電気事業者（中国電力など）へ34円／kWhで売電します。平成24年にスタートした「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による認定設備（FIT認定）になると20年間の買い取り価格が保証されており、FIT認定水力発電は、これで村内3カ所目です。

「西粟倉に流れる水は、私たちの生活を支え、命を育みまた林業や農業にも沢山の恩恵を織りなす大切な自然の資源です。西粟倉は自然のめぐみとしての水の織りなす利の可能性を大切にします。」

入札情報　※入札金額120万円以上を掲載しています。

	建設課		教育委員会	
事業名	林道ダルガ峰線改良工事	林道塩谷北線舗装復旧工事	令和３年度史跡智頭往来志戸坂峠越災害復旧事業に係る地番調査及実施設計業務	令和３年度西粟倉小学校給食室屋根改修工事
施工場所	大茅	影石	坂根	長尾
落札業者名	大茅土建（有）	佐藤建設（株）	株式会社空間文化開発機構	有限会社森岩木材
契約金額（税込）	8,250,000円	1,815,000円	10,010,000円	4,950,000円

節水のお願い　水は限りある資源です。節水へのご協力をお願いします！

＜ご家庭でできる簡単な節水方法＞

洗面・手洗いのとき

36ℓ

水を3分間流しっぱなしで洗うと、約36リットルの水を使います。止めながら洗えば、（1分あたり）約12リットルの節水になります。

歯磨きのとき

6ℓ

30秒間水を流したまま磨くと、約6リットルの水を使います。コップを使うと、1回で約5リットルの節水になります。

お風呂のとき

180ℓ

シャワーを15分間出しっぱなしにすると、約180リットルの水を使います。この量は、浴槽1杯分とほぼ同じです。家族で入るなら、浴槽にためて入った方が節水になります。また、使用後の水は洗濯、植木の水やり、まき水、掃除にも利用できます。

ちょっとした心がけで、たくさんの水が節約できます。
ご家庭にあった方法を考えて節水に取り組みましょう！

西粟倉村 建設課

俳句

あわくら俳句教室 六月句会

兼題「紫陽花　梅雨　自由題」　選者　乾　北星

あるじ無き店の花壇に咲く四葩　宮本　竜治
あぢさゐの花にひかれて廻り道　小坂　康子
八重葎あわだち草は三角錐　小椋　仁美
英田の里いい湯眼下に雲海と　建元　照子
夏来れば母と過ごした縁側を　横江　美榮子

選者吟
薫風の
言祝ぐ峡の
新役場

○ 次回は八月二十一日(土)
毎月第三土曜日の午後一時三〇分から
あわくら会館で活動しています。
丁寧に教えますので、
初心者の方もぜひご参加下さい。

川柳

粟の実川柳社 令和三年七月句会から

「耳」
耳元で大きな声で話す母　河野　孝子
幸せな耳でいいことだけ聞こえ　土居　みさえ

「嬉しい」
嬉しさと悲しみ越えた八十路坂　西本　栄子
嬉しくて子供の便り読み返す　小林　妻子

「自由吟」
元気かと声の便りが嬉しくて　清水　早苗
老いの身にHHの通知来る　井上　吉男
ふる里の山に向かいて想う事　国里　和夫
親思い自分を見つめ子に学ぶ　建元　照子
想い出の信濃路写すテレビ旅　熊見まちこ
やせたねぇ言ったあの人白内障　小椋　仁美

次回のお題
「長生き」照子選
「ゆっくり」吉男選
「合図」みさえ選
「自由吟」早苗選

○ 令和三年七月句会のご案内
七月十二日（月）午後一時三十分から
『よりみち』に於いて開催します。

おしえてねんきん ～国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ～

国民年金保険料の追納をおすすめします！

免除または納付猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。将来受け取る年金額を補うために、10年以内であれば、後から保険料を納めることができます。

申請方法、申請書等は、日本年金機構のホームページに掲載しております。詳しくは年金事務所にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している方へ

令和2年2月以降に収入が減少した場合、引き続き令和3年度(令和3年7月から令和4年6月まで)以降も国民年金保険料の臨時特例免除を希望される方は、再度申請が必要となります。

※詳しくは、津山年金事務所(電話0868-31-2360)までお問い合せください。

みまさか商工会西粟倉支所移転のお知らせ

みまさか商工会西粟倉支所が西粟倉村長尾657-1に移転しましたのでお知らせ致します。電話番号FAX番号は変更ありません。

みまさか商工会西粟倉支所 TEL 0868-75-3421 / FAX 0868-75-3422

福祉有償運送事業を行っています

社会福祉協議会では、日常の社会生活において移動に制約のある方を対象に、通院や買い物などの社会生活の支援を目的として、移動手段の提供を行っています。ご自宅から目的地までの移動を「登録している車」で送迎します。利用するには、条件があります。ご確認ください。

対象者	・介護保険の要支援・要介護者で介護の必要な方 ・身体障害者手帳を持っている方 ・その他（肢体不自由・内部障害・知的障害・精神障害等の障害がある方）
利用料金	距離制料金（乗車から降車地点の利用距離） ※待ち時間が発生した場合は待ち時間料金が加算
利用できる日	月曜日から金曜日　8：00～17：30まで（土・日・祝祭日・年末年始は休み） 利用希望の方は、前日までに予約が必要です。
利用するには	事前に登録が必要です。下記までお問い合わせください。

社会福祉協議会　☎79－2561

地域密着型サービス事業所緊急受け入れ事業について

村内にお住まいの方で、介護者が急に、家族の介護ができない状態になった場合に、危急な状況を脱する初期の期間の一時宿泊及びその間の生活について支援する事業です。

受け入れ場所	小規模多機能型居宅介護事業所（ひだまり）
利用対象者	緊急時において在宅でひとりで過ごせない高齢者や障害者の方
利用条件	介護者に予測不能な介護ができない状況（冠婚葬祭・入院等）が生じた場合で原則２泊３日とします。ただし、利用される理由や施設の状況等により利用できない場合もあります。詳しくは、ひだまりへお問い合わせください。

ひだまり　☎79－2100

地域支え合い事業について

社協では、「高齢者の閉じこもり防止」や「ふれあいの場づくり」などの地域の支え合い事業（ロマン会）を行っています。65歳以上の方を対象に令和3年4月より毎週水曜日10時～15時、あわくら会館・よりみちなどで楽しく活動しています。ご興味のある方は、社協までお問い合わせ下さい。

＜8月の予定＞
お菓子作りやクラフト音読、ボードゲームなど楽しい活動を開催します。

４月芝桜を観に

５月音読に挑戦！

６月体の使い方教室

あわくら豆知識

チアスマイルの作り方

周りの人を勇気づけ、元気づけることの出来るハツラツとした笑顔を振りまこう！

①目をしっかり開いて、キラキラとした眼差しで相手を見る。

②口もしっかり口角をあげて、顔全体で楽しさを表現する。

完成！

人の動き

令和３年７月１日現在の動き

● 人口 1,413人（-5）　● 男 661人（０）

● 世帯 608戸（-2）　● 女 752人（-5）

６月中の異動	
出生	１人
死亡	０人
転入	１人
転出	７人

■お誕生おめでとう

春名（はるな）　泰我（たいが）ちゃん
6月22日生まれ(中土居)
お父さん 圭さん
お母さん 加奈絵さん

白籏（しらはた）　七紬（なつ）ちゃん
7月2日生まれ(中土居)
お父さん 伸治さん
お母さん 歩実さん

河野（こうの）　季平（きっぺい）ちゃん
7月10日生まれ(中土居)
お父さん 魁人さん
お母さん 美公さん

平田（ひらた）　珠愛（じゅあ）ちゃん
6月29日生まれ(引谷)
お母さん 沙也香さん

善意の窓

社会福祉協議会から（令和３年６月17日～令和３年７月16日まで）

● お大事にしてください　西本 榮子 様（別府）本人 退院内祝

● お悔やみ申し上げます　山田 佳紀 様（谷口）父 栄様 香典返し

［お知らせ］

リニューアルした広報誌にとても多くの嬉しい反響をいただいております。本当にありがとうございます。また村民掲示板へも改良点のアドバイスをいただきましたので、今月号より以下を反映しております。

■ 色文字についての改良点

→7月号は白抜き文字・色付き文字が多いページが読みづらいとのご意見をいただきました。同時に高齢者の方から白抜き文字のほうが読みやすいという声もいただいておりますので、今号からは、色の濃度をあげ読みやすい文字になるよう調整し、どなたの目にも優しい誌面になるよう改善しました。

■ リニューアルの目的

→リニューアルの目的が不明瞭とのご指摘をいただきました。現在様々な取り組みが始まっている西粟倉村では、行政と村民との情報共有がより重要になっていると考えます。今月号の総合振興計画のように今後も行政情報を村民のみなさんに分かりやすくお伝えし、みなさんが興味を持つきっかけになる広報誌を目指し、リニューアルを行いました。

村民掲示板

やりたいことやイベント情報を発信したい！協力者募集！などの声を大募集＆発信中！

■ 村民掲示板投稿ページへの PC からのアクセスについて

→7月号では URL の掲載が無く、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。パソコンからは以下の方法でアクセスできます。

［投稿方法］

・PC から →「西粟倉村役場」で検索しアクセス→画面右上「お問い合わせ」→「村民掲示板」へ

・スマホから → 右のＱＲコードを読み取っていただき、申請ページから投稿

・投稿用紙を投函 → あわくら会館内に設置してある掲示板用紙を投稿箱へ

これからも村の重要な情報発信として皆さんにとって意義のあるものであるよう努力してまいります。来月からもより多くのご意見・ご希望、心よりお待ちしております。

留意事項　毎月広報係が内容を精査し、掲載の可否を決定します。
事業性のある広告は一般チラシとして有料で折り込みを受け付けています。

黄金泉　大人700円→500円　小人500円→400円
元　湯　大人500円→400円　小人250円→200円　（小学生未満無料）

黄金泉　大人700円→500円　小人500円→400円
元　湯　大人500円→400円　小人250円→200円　（小学生未満無料）

黄金泉　大人700円→500円　小人500円→400円
元　湯　大人500円→400円　小人250円→200円　（小学生未満無料）

黄金泉　大人700円→500円　小人500円→400円
元　湯　大人500円→400円　小人250円→200円　（小学生未満無料）

黄金泉　大人700円→500円　小人500円→400円
元　湯　大人500円→400円　小人250円→200円　（小学生未満無料）

祝　平田 千代子さん 100歳おめでとうございます。

引谷地区の平田千代子さんが100歳のお誕生日を7月11日に迎えられ、誕生日に先立ち、利用されている小規模多機能ホームひだまりで100歳のお祝い会が催されました。

これからもお元気で長生きしてください。

あわくら大学６月講座　～あわくらポイントサービスの説明と登録～

6月18日(金)あわくら会館百森ひろばにて、6月講座が行われました。6月から始まった「あわくらポイントサービス」を利用していただけるように、地方創生推進室からどんな活動に参加したらポイントが貯まるのか、ポイントは何に使うことができるのかを説明していただき、大学生のみなさんにポイントサービスの登録をしていただきました。あわくら大学に参加する以外にも、ポイントが貯まる活動が色々と用意されているので、ポイントを貯めるという新たな楽しみができたようでした。

生きるを楽しむ SDGs未来都市 西粟倉村

日	月	火	水	木	金	土
8/8 山の日	**9** 振替休日 可燃ごみ 図書館休館日	**10**	**11** ＜会館イベント＞ 頭イキイキ音読教室 (P18)	**12** 可燃ごみ	**13** かん類	**14**
15 成人式 10:00～ あわくらホール	**16** 可燃ごみ	**17**	**18**	**19** 可燃ごみ ＜会館イベント＞ 目指せ！葉っぱ探偵！ 10:00～11:30	**20** 資源ごみ あわくら大学 10:00～12:00	**21** ＜会館イベント＞ ・夏の不調を整える 漢方ライフ ・あわくら俳句教室(P18)
22 ＜会館イベント＞ やまと森の知らない世界 Vol.3(P18) ちょきちょきの会 10:00～11:30 親子ふれあい遊び 10:00～11:30 あわくらホール	**23** 可燃ごみ ソフトボール ナイターリーグ 19:30～ 村民グラウンド	**24**	**25**	**26** 可燃ごみ	**27** びん類	**28**
29 森のおもちゃフェスティバル(P27) ＜会館イベント＞ ボードゲーム大会 inあわくら会館(P18)	**30** 可燃ごみ 図書館休館日	**31** 納 国民健康保険税８月期 後期高齢者医療保険料 ８月期 個人村県民税第2期	**9/1**	**2** 可燃ごみ	**3** 資源ごみ ＜会館イベント＞ ・音楽朗読会 (P18)	**4** ＜会館イベント＞ ・音楽朗読会 (P18)
5 防火防災の日 消防団 8:00～ 図書館の日イベント 10:00～18:00	**6** 可燃ごみ	**7** 古紙	**8**	**9** 可燃ごみ 子育て相談 10:00～16:00 いきいきふれあいセンター	**10** かん類	**11**

納　納付期限にご注意いただき納付をお願いします。口座振替の方は残高確認をお願いします。

広報
令和3年8月号
No.699

発行　〒707-0503　岡山県英田郡西粟倉村影石33-1
西粟倉村役場　総務企画課
TEL 0868-79-2111　FAX 0868-79-2125
印刷（資）谷本弘輝堂

森の町内会 間伐に寄与する紙 www.mori-cho.org
古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組み岡山県西粟倉村との連携により実現した「森の町内会－間伐に寄与する紙－」を使用しています

割引券　黄金泉・元湯　期限 令和３年10月31日
割引券　黄金泉・元湯　期限 令和３年10月31日
割引券　黄金泉・元湯　期限 令和３年10月31日
割引券　黄金泉・元湯　期限 令和３年10月31日
割引券　黄金泉・元湯　期限 令和３年10月31日